

り組むとともに、高齢者の生きがいを、シルバー人材センターと連携し、就労機会の確保と高齢者クラブなどの活動の支援を行ってまいります。

◆地域医療制度の充実

救急医療体制や医師不足といった、市民の皆様の不安に応えるため、県西総合病院の整備再建に取り組むとともに、地域医療ネットワークづくりの構築を図り、地域医療の充実を進めてまいります。

また、急速な高齢化や疾病構造の変化などにより年々医療費が増加し、国民健康保険制度や高齢者医療保険制度は厳しい財政運営を余儀なくされております。

今後も、保健や福祉と連携しながら健康増進・健康づくりの保健事業を積極的に進め、医療費の軽減に努めてまいります。

豊かな心と生きがいを育む教育・文化環境づくり

◆学校教育の充実

「生きる力」を育むという学習指導要領の理念を実現するため、「確かな学力・豊かな心と生きがいを育む教育・文化環境づくり」を推進してまいります。

な心・健やかな体」の調和のとれた子どもに成長するよう地域の特色を活かした教育に努めてまいります。

また、小中学校適正配置につぎましては、具体的な統合を目指すための策定委員会を設置して、多方面からの意見を聞きながら基本計画に基づき実施計画書の作成を進めてまいります。

次に、教育内容の充実につぎましては、国際化・情報化時代に対応する力をつける英語・情報教育の環境を整備するため、外国語指導助手・教育補助員・コンピュータ教室の充実を図ります。

さらに、児童・生徒の心の悩みや不安を相談できる「教育支援センター」の更なる充実を図り、不登校・ひきこもり児童の問題解消に努めてまいります。

次に、教育施設の整備につぎましては、「大國小学校管理教室棟耐震補強工事」や、施設の修繕工事を進めてまいります。

◆生涯学習・芸術文化活動の推進

真壁伝承館・岩瀬・大和公民館が生涯学習の拠点となる

◆道路整備と公共交通の充実

1級市道の整備を、国・県の補助などを活用し、年次計画に沿って順次進めてまいります。

また、市民の皆様からの要望が多い集落道や排水整備についても、緊急性・必要性を精査し、優先順位をつけ計画的に整備してまいります。

さらに、国道・県道などの主要道路の整備促進につきましても、国や県に強く働きかけてまいります。

続きまして、公共交通システムについては、「デマンドタクシー」の、より一層の利便性を図り、利用促進に努め、交通弱者の方々の足となるように努めてまいります。

◆下水道の整備



年次計画により、供用開始

下水道の普及のため、市内で下水道接続促進キャンペーンを行いました。

講座・イベントを開催し、市民の皆様の学習・文化活動に対する意識啓発を図るとともに、市民が主体となって行う芸術文化活動の成果発表などを支援してまいります。



市民文化祭音楽祭を開催。日ごろの練習の成果を発表しました。

◆スポーツ活動の振興

スポーツを通じて健康で明るい豊かな生活を送れる環境づくりに努めてまいります。

◆文化財の保存・活用

震災により被害を受けました、真壁のまち並みの歴史的建造物に対し、引き続き国・県からの支援を受け、復旧を推進してまいります。

快適で潤いのある生活環境づくり

◆防災・消防対策の充実

災害に強いまちづくりを進めるため、防災意識の高揚や

また、不法投棄や水質・騒音の監視強化に努めるとともに、悪臭や野焼き、犬のフン害などの公害苦情に対する指導強化や、マナーアップの意識啓発も図ってまいります。

魅力と活力のある産業社会づくり

◆農業の振興

大消費地に近接する立地条件を活かし、安全・安心で良質な農作物の安定供給を図ってまいります。

また、優良農地の確保、農業生産基盤の整備、経営感覚に優れた農業者の育成を推進し、地産地消の拡大に努めるとともに、農産物のブランド化を進め、観光産業と連動した魅力ある農業のPR活動を推進してまいります。

◆商工業の振興

民間活力による商業機能の活性化を図ってまいります。また、地場産業である石材業につきましては、市のシンボリックな産業として、トップセールスで、市内外のPRに努めるとともに、本地域が長年積み重ねた石材加工の技術力を活かし、新分野への進

災害時における行動力の強化に努めてまいります。

また、防災行政無線のデジタル化につきましては、岩瀬地区を継続事業として行なってまいります。

次に、県内の防災関係機関の連携協力体制の強化および市民の皆様一人ひとりの防災に関する理解と意識の高揚などを図るため、茨城県と桜川市の共催による総合防災訓練を実施いたします。

また、災害時相互応援協定などを踏まえ、災害用備蓄品を計画的に準備し、災害発生時の初動体制の強化を図ってまいります。

さらに、消防防災体制の充実を図るため、消防団・自主防災組織の育成に努め、市民の皆様と連携を図ってまいります。

◆防犯および消費生活対策の推進

自主的な防犯パトロール活動や防犯灯のLED化を推進するための機材の提供を行うとともに、防犯組織の結成を促進し、安心・安全なまちづくりに努めてまいります。

また、消費者行政につきましても、国・県・関係機関な

出・販路拡大を推進し、さらに伝統工芸品などのブランド力を広め、協働して活性化に努めてまいります。

◆観光の振興

「桜川のサクラ」「雨引観音」や「真壁の町並み」など歴史・文化そして豊かな自然環境など地域資源を活用し、観光のまちさくらがわを創出してまいります。

また、「真壁の町並み」が重要伝統的建造物群の地区指定の選定を受け、ひな祭りシーズンのみならず来訪者が増加傾向にあります。

このような状況下、更なるイベントや観光宣伝の強化を図り、各方面からの観光客が訪れやすい誘導策を講じる方針を検討してまいります。



◆企業誘致および新産業の育成 長方地区が用途変更された

どと協力しながら相談体制の一層の充実を図り、市民の皆様の安心・安全な消費生活の実現を図るため、今後も継続的に取り組んでまいります。

◆交通安全対策の推進

交通安全施設の整備を図るとともに、関係機関と連携・協力し、市民の皆様の交通安全意識と交通マナーの高揚に努めてまいります。

さらに、通学路の安全対策および高齢者の交通事故防止啓発にも努めてまいります。

◆計画的な土地利用の推進

大和駅ならびに桜川筑西インターチェンジ付近に、民間活力による開発を引き続き促進し、交通・流通・産業の拠点となるような施策を展開してまいります。

◆住環境の整備と景観の形成

民間活力による優良住宅の整備推進を図るとともに、市営住宅については、外壁改修工事を年次計画に基づき実施し、長寿命化を進めてまいります。

また、定住人口の増加を図るために、市内に住宅を取得し、一定要件を満たした市外転入者に対し、一定の金額を助成する制度を実施いたします。

ことにより、製造業のみならず商業施設の立地がしやすくなったことから、桜川筑西インターチェンジ周辺地区整備計画に基づき、総合的な整備を実施し、企業が進出しやすい環境づくりを、引き続き進めてまいります。

結びに

平成27年度の予算編成も、平成26年度に引き続き、大変厳しい状況での予算編成となりました。

桜川市経営方針にあります「徹底した歳出削減、安定した財源の確保を図るため、抜本的な行財政改革に取り組み」のスローガンの下、地域間競争に勝ち抜くためにも、職員が一丸となって、徹底した無駄の削減、新たな財源の確保に取り組まなければなりません。

今後も、引き続き、職員ともども、桜川市発展のために頑張ってください。市民の皆様におかれましては、何卒、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。